

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

事業名 パラスポーツフェスタ開催事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 社会参加推進係 電話番号：058-272-1111(内3484)

E-mail：c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,826 千円 (前年度予算額： 1,826 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,826	913	0	0	0	0	0	0	913
要求額	1,826	913	0	0	0	0	0	0	913
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

パラスポーツの裾野拡大やパラスポーツの認知向上を図るため、障がいのある方もない方も参加できるパラスポーツフェスタを県内の各圏域で開催する。

(2) 事業内容

県内 5 圏域において、ボッチャ・フライングディスク・ゴールボール等のパラスポーツの体験等を実施し、パラスポーツの裾野拡大を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

国1/2、県1/2【地域生活支援事業】

都道府県任意事業実施要領

2 社会参加支援に関する事業

(7) レクリエーション活動等支援

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,826	委託先：(一社) 岐阜県障害者スポーツ協会
合計	1,826	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・清流の国ぎふスポーツ推進計画において柱のひとつとなっている、「より多くの障がい者が楽しみ活躍できる『パラスポーツの推進』」の目玉事業として、パラスポーツフェスタの開催が記載されている。
- ・岐阜県障がい者総合支援プラン（障がい者スポーツの普及促進）

(2) 後年度の財政負担

- ・事業効果を検証しながら継続実施予定

(3) 事業主体及びその妥当性

パラスポーツフェスタの開催にあたっては、県内の各障がい者スポーツ団体と連携しながら進める必要があるため、そのとりまとめをしている(一社)岐阜県障害者スポーツ協会に委託する。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

パラスポーツフェスタを県内の各圏域で実施することで、パラスポーツの裾野拡大を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①参加人数	0	505	1,000	1,000	1,000	51%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>○取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11/26 高山市 参加者 70名 ・2/23 関市 参加者 170名 ・1/22 瑞浪市 参加者 70名 ・2/26 大垣市 参加者 140名 <p>○成果</p> <p>パラスポーツの裾野拡大や認知度向上が図られた。</p> <p>指標① 目標：1,000 実績：450 達成率：45.0 %</p>
令和5年度	<p>○取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9/10 大垣市 参加者 99名 ・9/23 高山市 参加者 116名 ・2/12 関市 参加者 114名 ・2/23 恵那市 参加者 106名 <p>○成果</p> <p>パラスポーツの裾野拡大や認知度向上が図られた。</p> <p>指標① 目標：1,000 実績：435 達成率：44.0 %</p>
令和6年度	<p>○取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9/23 下呂市 参加者 78名 ・9/28 美濃市 参加者 71名 ・12/15 垂井町 参加者 102名 ・2/1 岐阜市 参加者 127名 ・2/24 多治見市 参加者 127名 <p>○成果</p> <p>パラスポーツの裾野拡大や認知度向上が図られた。</p> <p>指標① 目標：1,000 実績：505 達成率：50.5 %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	パラスポーツの裾野拡大は、ひいては障がい者が楽しみ活躍できる場を生成する。各圏域でパラスポーツフェスタを開催することで、県下全域でその土壌を生成することにつながる。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 1	障がいのある人もない人も参加しており、パラスポーツの裾野拡大が図られているが、目標人数には達していない。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	委託先に予定している(一社)岐阜県障害者スポーツ協会は、例年実施している春大会及び秋大会の実施主体でもあるため、パラスポーツフェスタ開催時もそのノウハウを活かした効率的な事業実施が見込める。

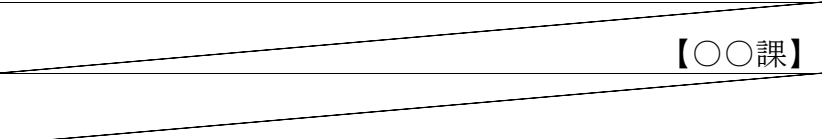
(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 「東京2020パラリンピック競技大会」で高まったパラスポーツへの関心を一過性のものとせず、障がいのある方、ない方に関わらず、パラスポーツの普及促進に努める必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 障がい者の社会参加の推進及びスポーツ振興のために、第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画に則り、継続的に取り組む。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	<div>  </div> <div>【〇〇課】</div>